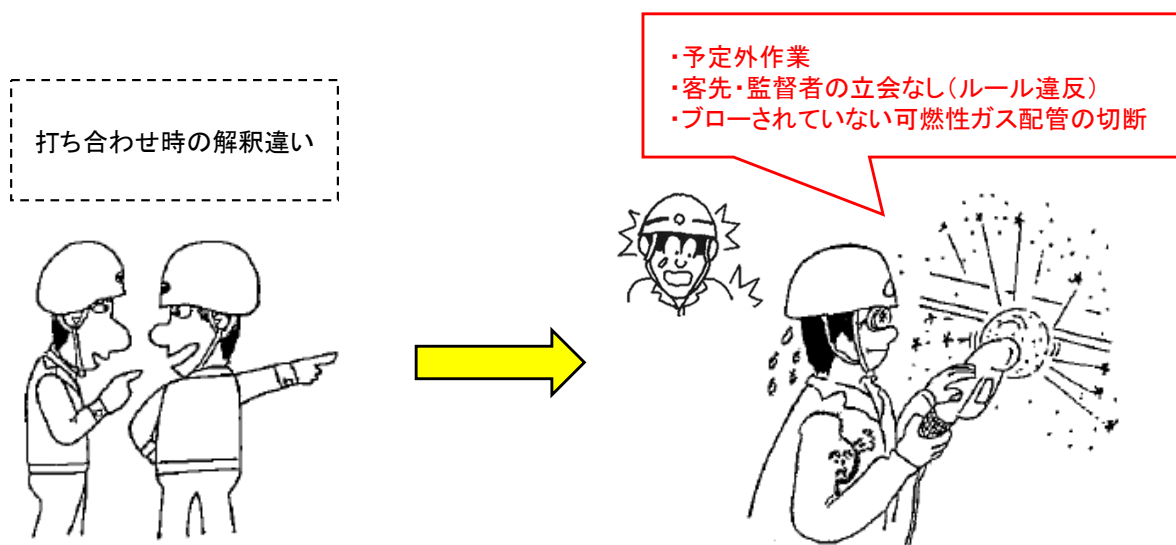


## 翌日切断する予定の配管を許可なく切断した

## 【発生状況】

監督者と作業者の打ち合わせにて、翌日行う予定である既設配管の切断箇所を説明したところ、本日着工するものと勘違いし、客先や監督者の立会なしで切断作業を行った。

当該配管は可燃性ガスの配管であり、配管内のブローが完了していなかった。



## 【原因・問題点】

- ①作業連絡の内容について、監督者と作業者の間で解釈違いがあった。(監督者は作業準備の許可を出したつもりであったが、作業者は切断作業の許可が出たものと勘違いした)
- ②客先、監督者の立会なしで既設管の切断を行った。(既設管の切断は立会の下行うルールであった)

## 【対策】

- ①作業連絡・打ち合わせは相互間で解釈違いのないように明確な表現や言葉で説明・確認する。内容に不明瞭な点がある場合は、復唱して再確認する。
- ②決められたルールは遵守する。(既設管の切断は立会の下で行う)